

家棟川ビオトープ 水鳥観察会を開催しました(^◇^)

平成30年11月18日(日)9時頃から、野州市野田地先の家棟川ビオトープで水鳥観察会を開催しました。

今年の9月に続いて2回目の観察会で、天気も良く暖かい中、個人、団体の方々14名とスタッフ16名の計30名での開催となりました。

家棟川河口の湖岸ではヨシの観察、水鳥の観察を行った後、ビオトープに移動し、ビオトープ内の散策、ネイチャーゲームやクラフトづくり、野草と魚の天ぷらの試食を行いました。



ヨシの観察

ヨシの観察では、県内で取り組まれているヨシ帯の復元について琵琶湖開発総合管理所の職員から話を聞きました。ヨシ帯は水質浄化の機能だけでなく、魚や水鳥の生息場所や産卵場所にもなっていることを教えていただきました。



水鳥の観察

望遠鏡や双眼鏡を使っての水鳥の観察では、マガモ、カンムリカイツブリ、キンクロハジロなどや普段あまり見られないミサゴやイカル千ドリが確認でき、参加者からは望遠鏡から見える野鳥に歓声を上げていました。

また、蜃気楼も見ることができました。



ビオトープを散策



空飛ぶ種の作製

ネイチャーゲームでは、型紙から切り取った空飛ぶ種を作成し飛ばしました。

また、クラフトづくりでは、どんぐりでストラップを作ったり、木に穴をあけてねじを廻すと鳥の鳴き声が聞こえるバードコールを講師の先生の指導を受けながら作製しました。



どんぐりのストラップ作製

最後に全員そろっての記念撮影をした後、ビオトープ内で採れたスイバ、アカツメクサ、セイタカアワダチソウなどの野草やコアユの天ぷらを試食しました。おにぎりを持参している参加者の方もおられ、楽しい時間を過ごしていただきました。

参加してくれた子どもたちから、面白かったという声もいただきました。

来年度も引き続き自然観察会を予定していますので、多数のご参加お待ちしております！！



野草と魚の天ぷらを試食

参加者全員で記念撮影



家棟川ビオトープ自然観察会

主催：滋賀自然環境研究会、NPO法人家棟川流域観光船、野洲市環境課、

滋賀県土木交通部流域政策局河川・港湾室、南部土木事務所

協力：独立行政法人水資源機構琵琶湖開発総合管理所

事務局：滋賀県土木交通部流域政策局河川・港湾室